



# 大阪YWCA

4

2025

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

## イースター 新たな物語の始まり

村山 盛忠



次のような話が聖書に出てきます。会堂司の娘が亡くなりその家にイエスは訪ねます。人々は悲しみの余り泣き叫んでいますが、イエスはその子の手を取り、「タリタ・クム」と云います。これは『少女よ、あなたに言う。〈起きなさい〉』という意味です（マルコ福音書5章41節）。

中東世界で用いられているアラビア語聖書で、〈起きる〉とは『クム』という語で、〈復活する〉という語も同じ『クム』です。「主は復活した（クム）」（マルコ16:6）と聖書は記します。少女の死はいのちの終わりではなく、新たな物語のはじまりだと告げます。「少女はすぐに起き上がった、歩きだした」と（マルコ5:42）。イースターは、新たな物語のはじまりを告げているのです。

パレスチナのガザ大学教授で詩人リファト・アルアライールが、娘シャイヤーに贈った詩があります。

「わたしが死ななければならぬとしても、きみはいきねばならない…中略」

—そして最後に再び—

「わたしが死ななければならぬとしてもそれが希望を伝えるものとなりひとつの物語（テイル）となるように」

教授は2023年12月6日、イスラエル軍のミサイル攻撃により家屋を破壊され親族諸とも殺害されました。生前学生たちに詩作を勧め、物語することは痛みにも死にも屈しない行為であり、生きること、抵抗すること、記憶を形作る証拠だと語ります。ガザの学生たちは自らの物語を語りはじめ、教授はそれらを編纂し、『物語ることの反撃』が著書として刊行されました。

根こそぎの破壊、民族浄化の皆殺し、地中にも何万の人々が眠るガザの大地から、希望を伝える新たな物語が起きているのです。

イエスの復活（クム）は、死や病い悲惨や不幸といわれる状況に在るとき、終止符（ピリオド）でなく句得点（コンマ）に変わり、新たな物語のはじまりを、わたしたちに語りかけているのです。私たちのいのちは、風の尾のように空高く舞いつづけています。

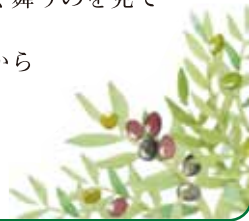
むらやま もりただ  
日本キリスト教団大阪生野教会協力牧師、  
ガザのアハリ・アラブ病院を支援する会の共同代表

### 「物語ることの反撃 パレスチナ・ガザ作品集」

(2024年11月30日、河出書房新社)  
リファト・アルアライール編  
藤井光訳 岡真理解説

わたしが死なねばならないとしても、  
きみは生きねばならない  
わたしの物語を語って  
わたしの物を売って  
ひときれの布と  
いくつかの糸を買えば、  
（白い布に長い尾（テイル）をつけるといいよ）  
ガザのどこかにいる子どもが—  
目に天国を映して  
炎のなか去った父親を待っている

誰にも別れを告げず  
自分の体にさえも  
自分自身にさえも別れを告げずに去った父親を持つ子どもが—  
風を見て、きみが作ったわたしの風が空高く舞うのを見て  
ほんの一瞬、それは天使で、  
愛を伝えに戻ってきたのだと思ってくれるから  
わたしが死なねばならないとしても  
それが希望を伝えるものとなり  
ひとつの物語（テイル）となるように



# 「女性と戦争」を 沖縄からみつめる



韓国人慰霊の碑前

## LA企画・沖縄ツアーを終えて

沖縄YWCAユース 蔵當日菜子

今回の沖縄ツアーは私にとって多くの学びがありました。沖縄で生まれ育ち、基地問題や戦後のさまざまな課題に直面している中で、これらの問題を日常化してしまい、真剣に考える機会を失っていましたが、今回のツアーを機に改めて考えるきっかけとなりました。また、ツアー参加者の皆さんとの交流を通じて意見を交わすことで、自分たちでは気づくことのできなかった視点を得ることができました。学ぶだけで終わらず、自分たちができることを自分なりに行動に移せるようになりたいと改めて思いました。

沖縄YWCAユース 大城陽

今回、私はツアーに参加して、知ることの大切さを実感しました。ずっと住んでいるはずの沖縄のリアルを知らなかったからです。初めて辺野古を訪ねて、実際に埋め立てが進んでいるのを見て、どんどん自分の知っている海が、そして沖縄が変わっていると身を感じました。ですが同時に、知ることが遅すぎたわけではないとも感じました。積み重ねが大事だからこそ、途中から知った私たちでもできることがあると考えさせられました。同じような思いを持っている方たちと協力していくことで、少しでも変化を感じられると思います。自分のできる学びをこれからも続けていきたいと、今回のツアーを通して思うことができました。

沖縄YWCAユース 仲宗根智利

約2年間、沖縄や現代社会の様々な課題と向き合い、今まで当たり前だと思っていた基地があることやヘリの音で講義が中断されるなどのことが実は普通ではないことに気付かされました。

また、辺野古ははじめとする基地問題に関して気軽に話題に出してはいけないような風潮を感じるため、今回経験したことを私たちが伝えていく役割があると強く実感しました。

今後は客観的に物事を見て、茹でガエルのようにならないように私たちから発信していこうと思います。

2023年度から大阪・沖縄YWCAが協働して取り組んできた「沖縄と大阪を結んで女性の権利とジェンダーの課題を考える」の集大成の沖縄フィールドトリップが2月22日から24日の日程で行われた。沖縄、大阪を始め福岡や京都各YWCAのメンバーに加え留学生や他団体からも参加があり、交流を深めた。

このツアーでは、辺野古の海上阻止行動や南部戦跡巡り、コザの街散策などを通して「女性と戦争」のテーマを掘り下げ、元日本軍「従軍慰安婦」問題、ひめゆり学徒隊の戦争体験、そして現在も続く米軍の女性への暴力などについて、共に考える場を持った。重くながちなテーマだが、今回平和ガイドに挑戦した3人の大学生を始めとして、参加者全員で明るく前向きに取り組むことができ、改めて「シスターフッド」という言葉の意味を体感できた。3日目のワークショップでの「社会の中で弱い立場にある人をつなげていく」「知った責任からアクションを起こす」「微力だけれど無力ではない」といった決意を参加者それぞれが心に刻み、旅を終えた。(文責 編集部)

2年近く前、私は初めて沖縄ツアーに参加して、大阪YWCAのインターンシッププログラムに参加していた彼女らは、指導教員である仲里和花先生を振り返りながら心細気に発表していた。しかし回を重ねるごとに自分たちで調べ準備した事を自らの言葉で発表するようになっていき、その成長は目を見張るものがあつた。このツアーで久しぶりに会った彼女たちはさらなる成長した姿を見せ、ツアー参加者の前でそれぞれが担当する



平和の礎



ひめゆりの塔



船で辺野古新基地を海上視察

## わが人生の歩み

ぶどうの木

228

私は10回目の引越して東京から関西に参りました。その後、阪神淡路大震災に遭遇、住居が全壊しました。多くの方が亡くなりました。に、不思議なことに私は生き残りました。震災から30年。今年の1月17日に私は、特別な思いで過ぎし日々を振り返りました。

30年の間に私は2人の母の在宅介護を経験しました。家庭裁判所では調停の仕事に携わりました。10年前に夫を病で見送つてからは一人暮らしをするようになりました。現在、私は教会生活を守りつつ地域のサークル活動(朗読、オカリナ)に参加し、お料理ボランティアを続けています。ガーデニングが大好きになり、家ではお花たちに慰められています。

(会員 齋藤 知子)





コザの町

戦跡で堂々と説明する姿に驚かされた。綿密な下調べをし、何度も現地足を運び練習を重ねたそうだ。彼女ら自身も家族や周囲の人から聞き取りをし、沖縄戦やアメリカ統治下の住民の苦難、現在の基地問題と向き合い、それを自分のものとしたからこそ自信を持って他者に伝えることができたのだろう。

そしてこのツアーに参加し

（大阪YWCA 会員 小澤 裕子）

# 大阪YWCA 第108回定期会員集会

3月1日、第108回定期会員集会が委任状提出者を含む156名で行われた。コロナ禍の影響でここ数年梅田開催が続いていたが、久しぶりの千里開催となった。

各部委員会の代表がそれぞれ自分たちの活動報告を行い、大阪YWCAの幅広い活動を今更ながらに実感出来た集会となった。午後からの付帯プログラムとして、パレスチナアム

ル代表の北村記世実さんによる講演会「刺繍とデザイン - ガザ再起への希望」が行われ、イスラエルにより破壊され多くの命が失われたガザへ思いを馳せた。

（文責 編集部）

2023年度決算報告、2024年度事業報告、2024年度会計現状報告が行われ、2025年度事業計画案、2025年度予算案が承認された。また、次期運営委員、指名委員候補者推薦も承認された。

## 2025年度新役員紹介



会長  
津戸真弓さん



副会長  
大畑知子さん



副会長  
小澤裕子さん



書記  
田中真砂子さん



会計  
平井佐津紀さん



あつという間に人は死ぬから「時間を食べつくすモンスター」の正体と倒し方  
著者 佐藤 舞  
KADOKAWA出版

テーマは「時間」。時間の僕になるのではなく、主になる。流されるままの人生から、自分で方向を決める人生にする。そのために自分の価値観に基づいた目標設定をするワークもあり、単なる時短術や効率術ではない奥の深い内容の1冊。1年が早いと感じる大人におすすめ。



## 1 / 25講演会 ガザ地区における命をつなぐ支援現場から

大阪赤十字病院看護部の川瀬佐知子さんの講演会が1月25日に本館で開催され、51人が参加した。川瀬さんは、2023年7月からガザ北部のアルクツズ病院で医療支援に従事したが、11月の邦人退避までと現在のガザの様子を写真や映像と共に紹介した。

10月7日のイスラエルとハマスの武力紛争勃発直後から、アルクツズ病院には数え切れない程の患者が搬入され、救急車は攻撃され、病院前のパン屋も爆破された。現地スタッフから、シェルターに避難するよう声をかけられた川瀬さんは、避難の途中、目前に爆撃の破片が飛んできて死を覚悟したという。

ラファにある国連の倉庫に避難し、避難民の健康管理を担うもの

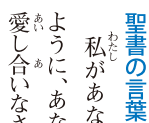
の、1錠の薬を調達するのも困難な中で、献身的に働く同僚や、避難民の赤ちゃんの誕生等が、「生きている希望を私に抱かせてくれた。」と川瀬さんは振り返った。

川瀬さんの元には、今も現地スタッフからのメッセージが届く。「私達は決してあきらめない。」「これだけ多くの子どもと女性が亡くなっている状況を世界はなぜ許しているのか。」「私達は忘れられた存在だ。」

参加者からは、ガザの平和のために自身にできる事を考えたいとの感想が目立った。

私は、彼らからのメッセージは同時代に生きる目撃者である私達に宛てられていると思った。

（会員 七条 聡美）



聖書の言葉  
私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

（ヨハネによる福音書 13章34節）

天然理石虎布専門店  
**吾妻屋 昆布司**  
株式会社 吾妻屋 天満店(ぶららてんま内)  
〒530-0033 大阪市北区池田町3-1ぶららてんま1階

キリスト教葬儀に関する全てを承っております  
キリスト教葬儀専門  
株式会社 **イースター式典社**  
0120-415-087(24時間) info@easter-net.co.jp  
営業エリア:近畿2府4県・福井・三重・鳥取・岡山・徳島・香川  
兵庫県尼崎市杭瀬本町1-2-5 グラシアスコート3F TEL 06-6415-6861 FAX 06-6415-6862  
http://www.easter-net.co.jp

# 大阪YWCA専門学校だより

5月スタート 子どもと子どもの本の講座 **受講生募集中!**

はじめてのことば

5/26 言葉の土台をつくる日常の経験  
受講料:1回2500円 講師:上田由美子



赤ちゃんに絵本を

- 6/2 赤ちゃん絵本①赤ちゃんが言葉と出会う時  
～何も持たずに生まれて来た赤ちゃんが出会う言葉～
  - 6/9 赤ちゃん絵本②赤ちゃんといわべ唄  
～いわべ唄から絵本の世界に～
  - 6/23 赤ちゃん絵本③成長を育むいわべ唄と絵本  
～実践の場から見える子どもの姿～
  - 6/30 赤ちゃん絵本④プログラムを考える  
～月齢、年齢、場所、その他の条件に沿ったプログラム～
- 受講料: 全4回8800円・単発受講2500円 講師: 仲上幸子  
いずれも月曜日13:00-15:00

春のおはなし会 5/12(月)13:00～ 参加費:1,000円 於:大阪YWCA本館



## Rise Up School Visits(RUSV) 包括的性教育ワークショップ



グループワークを進めるユースメンバー(右奥)と生徒達 梅花高校

2025年2月18日 (火) 梅花高等学校の2年生20名、2月28日(金) 大阪市立天満中学校3年生4クラス計103名を対象に、Rise Up School Visits(RUSV)のユースメンバーが包括的性教育ワークショップを実施した。テーマは、「ありのままです!私らしく、あなたらしく生きるために!」。コミュニケーション、セーフスペースや包括的性教育について専門家から学ぶ学習を重ねながら、ユースメンバーが1から参加型ワークショップを企画した。人権について? わたし・あなたが持っている権利は? 日常の例やワークシートを使用しながら、中高生に分かりやすく伝えるために試行錯誤した。

参加した生徒のアンケートより…  
「自分も相手も大切にすることを学んだ。」 「より良い関係を築けるように意識をしたと思った。」  
実施メンバー感想… 「カタカナがたくさんで

### 2025 世界YWCA日集会

## 知って欲しい! YWCA が大切にする事

～セーフスペース・つながり・自分らしさ～

4/26 (土) 13時半

会場: 大阪YWCA & 京都YWCA & Zoom 参加

参加費: 無料

どなたでもご参加いただけます。  
ご一緒に“YWCAらしさ”を深掘りしてみましょう!

きて、生徒達の反応がどうなるか気にしながら、スライドなどを準備した。実際にワークショップを実施すると、どちらの生徒も私たちの話を一生懸命聞いてくれ、とても嬉しかった。特に、天満中学の生徒は受験期間にも関わらず、積極的に参加してくれたのが印象的だった。」

(女性エンパワメント部 飯綱萌、永嶋里香)

- 協力ありがとうございました
- 【25/1/1】25/2/28 敬称略順不同
  - 【寄付】 点字
  - 点訳サークルシックスポイント
  - 中山 光世 くるみ幼稚園 所佳子
  - 日本キリスト教団扇町教会
  - 日本キリスト教団大阪教会
  - 日本キリスト教団大阪城北教会
  - 日本キリスト教団都島教会
  - 日本キリスト教団希望ヶ丘教会
  - 匿名1名
  - その他
  - 片山 隼亮
  - 募金
  - 13口 261,064円

☆千里  
富田 美幸  
**新入会員歓迎!!**

【報告】▼財務委員会 日本語教師 会会員よりご逝去にあたり100万円の寄付をいただく。

▼グループパレット 新年お祝い鍋パーティー開催、毎月の例会を順調に 対面で実施。

【協議】 ①1/13ピースフェスティバルふりかえり ②3/1定期会員集 会流れ確認、役割分担 ③世界 YWCA日集会 京都YWCA とのミーティング報告、テーマ等協議

**2月運営委員会報告**

【報告】▼定期会員集会 午後5時 帯プログラム講師依頼確認

③3/1定期会員集会 午後5時

【報告】▼女性エンパワメント部 関西学院大学 YWCA、12/20の「オレンジザキャンパス」イベントをもつてグループ活動終了。▼梅田会 員部 12/21クリスマス会開催、第一部大人向け、第二部子ども向けの 一部構成。

【協議】 ①2025年度世界 YWCA日集会、京都・神戸との3市 Y 協働開催協議 ②1/13ピースフ ェスティバル当日詳細確認

**1月運営委員会報告**